大田区地域福祉計画 指標達成のためのウォッチング項目



指標達成のためのウォッチング項目について

令和9年度の実態調査で、本計画の指標の目標を達成していくために、必要な検討・分析していく材料として、以下のウォッチング項目を設定しています。

このウォッチング項目の動向や分析をふまえて、必要な議論を重ね、本計画の進捗管理を行っていきます。

	基本 目標	計画の指標	直近値	目標	ウォッチング項目
	つながりを感じる ことができる地域 をめざします。	孤独感や孤立感がないと答えた方の割合	68.7%		現状の居場所分析
1		自宅以外で居心地のよい場所を持てる人 の割合	80.3%		
		さまざまな特徴や個性をもつ人たちに対し、 思いやりや優しさをもって接することができる人 の割合	49.0%		現状の居場所への支援策
2	誰もが地域に参加 できる共生のまち づくりを進めます。	多様な主体の連携・協働が住みやすい地域づく りにつながっていると実感している人の割合	32.1%		連携協働の事例の見える化
		現在住んでいるまちで、何らかの地域活動に 参加したいと思う人の割合	47.9%		区民が参加できる地域活動やボランティアの種別
3	安心して生活でき る地域を支えます。	困りごとを抱えた際に誰にも相談できない人の 割合	4.6%	•	困りごとや心配ごとの相談先の種別・候補
		。 災害時に、できる範囲で地域のために活動が できる人の割合	83.9%	—	区内の防災・減災訓練や活動状況の把握

「現状の居場所分析」

大田区社会福祉協議会で、子ども食堂連絡会やつどいの場活動支援助成などで把握している地域の居場所に関する団体263団体について分析

★目的別分類

	イベント等がなくても、ふらっと立ち寄れる居 場所	13	大森	4
六十字(J.H)			調布	1
立ち寄り型			蒲田	7
			糀羽	1
		148	大森	48
	食提供や学習支援などを目的に参加者が集まり、交流の機会があることで、居場所となる場		調布	27
提供型			蒲田	41
			糀羽	24
			広域	8
	支援を目的とせずに、企画したイベントや取 組を目的に参加者が集まり、交流の機会が	62	大森	13
			調布	22
サークル型	あることで、結果的に居場所となる場		蒲田	16
	 ※生涯学習団体データを含んでいないため実態は		糀羽	9
	もっとも多い分類		広域	2



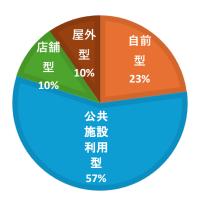
★実施頻度分類

週2回以上	32
月2回以上	57
月1回	108



★実施場所分類

自前型	55
公共施設等利用型	137
店舗型	25
屋外型	23



「現状の居場所分析」

立ち寄り型の居場所の例

「本屋を通して、人との出会いや心情の変化のある油断のできる空間」「令和のご近所づきあい」

ノミガワスタジオ

店舗型

活動場所:池上4-11-1 第五朝日ビル1階

活動回数:週5回

メインはギャラリー兼イベントスペースだが、放課後や休日に親子が談笑した、「本」を介したコミュニケーションスペースとしての顔も持つ。また、「よろず相談所」としての側面もある。



「頭の・心のモヤモヤをいっしょに整理します」

暮らしの保健室いえラボ

自前型

活動場所: 大田区西嶺町11-25 グランデュール西嶺103号室

活動回数:週3回(火·水·金)9:30~16:30

東邦大学の看護師経験のある教員が、健康・医療・介護・暮らしに 関する相談を受けている。気軽に立ち寄ってもらえるように、ワークショップや持ち寄りランチ会も実施。

地域包括支援センターや医療・福祉職の方々と「ココシリ会」という情報交換や勉強会を実施している。





「現状の居場所分析」

立ち寄り型の居場所の例

「商店街の中のお休み処」「地域での様々な情報交流の場」

コミュニティスペースにしかまた

自前型

活動場所:大田区西蒲田1-18-13

活動回数:週3回(月·水·木)11:00~16:30

のんびり、ゆったりした空間で、障がい者や高齢者、こ どもたちにやさしい地域づくりをめざしている。 運営は、大田区精神障害者家族会、(社福)プシケおお た、西蒲田商店街交友会、西蒲田1,4丁目町会などか ら推薦された委員で構成される運営委員会が行う。





こどもたちが自由に生き生きと遊ぶことができる「プレーパーク活動」

もっと遊べる五丁目公園の会

屋外型

活動場所:大田区中央5-14-1 中央五丁目公園

活動回数:週1回(水) 14:30~17:00

どろんこ遊び、水遊び、ロープ遊び、火おこし、木工作、 四季折々の遊びなど日頃の公園できないことを大人が 少し関わることで、子ども達の遊びや子ども同士の関係 がより豊かになるように活動している。





「現状の居場所分析」

食支援や学習支援等の提供型の居場所の例

芋やぽんぽこ子ども食堂

店舗型

活動場所:中央4-32-8

活動回数: 週3回程度 16:00~18:00

等やぽんぽこというお店の中のレンタルスペースを活用して、こども食堂のほか、学習支援等も行っている。運営は、フードバンク大田という団体で、現在大田社協と連携して、フードバンク活動にも取り組んでいる。



万人こども食堂

自前型

活動場所:新蒲田3-4-28

活動回数:週4回 14:00~18:00

駄菓子やお弁当などを配布していて、 飲食スペースはなく、店先にこどもた ちが集まっている。近隣に小学校など が多く、毎回100人規模の子どもたち が集まっている。



羽田のこのこ食堂

店舗型

活動場所:萩中2-11-5-1F 活動回数:週5回以上

平日は、朝ごはんを提供し、土日は、昼ごはん、火・金は夜ごはんも提供している。 そのほか、学習支援やワークショップ、まち歩きなど、こどもたちの地域での経験を 支援している。



こども食堂ウメキッチン

店舗型

活動場所:田園調布本町29-8 活動回数: 週6回 14:00~18:00

ごはん処梅吉というお店で食事を 提供しているほか、送迎や学習支援 を実施している。



「現状の居場所分析」

サークル型の居場所の例

アンドゥクラブ

自前型

活動場所:池上7-29-11

活動回数:週1回(火) 13:30~16:00

会員宅にて、主に高齢者の方を対象に、転倒防止体操や交流会、

月に数回は歌や英語を親しむ会などの活動を行っている。

サードエイジサロン

公共施設等利用型

活動場所:

新井宿出張所/キッズな/児童館/ 池上図書館/消費者生活センター/

大森平和の里

活動回数:月1回

アクティブシニアの「生きがい」を見つける講習と、地域参加の伴走。

①居場所つくり②仲間つくり③生きがい探し。 シニアのおしゃべりサロン、子ども支援セン ターのお手伝い、ベビーカー・車椅子メンテナ ンス、公園の清掃活動など。月例会も開催。



もふもふの扉(ひきこもり家族会)

自前型

活動場所:大森北2-5-11 カトリック教会3階集会室

活動回数:月1回第1土 14:00~16:00

ひきこもり当事者や親の懇談のほか、臨床心理士やカウンセラーによる勉強会などを実施している。

鵜の木ふれあい元気塾

公共施設等利用型

活動場所:鵜の木2-15-17(鵜の木2丁目町会会館)

活動回数:月1回(第3金曜日)

高齢の方の仲間づくり、子どもたちとのふれあいの場として月1回地域の高齢者が集まり、暮らしに役立つ話を聞いたり、体操や歌などを楽しんだりしている。



現状の居場所への支援策

立ち上げ支援		運営支援		ネットワーク連携支援	
相談支援	子ども食堂の立ち上げ に関する相談20件	相談支援	子ども食堂の運営に 関する相談2件	子ども食堂連 絡会	年3回実施
情報提供	子ども食堂立ち上げ済 団体への情報提供10 件	広報支援	つなぐ事業:延べ20 団体 子ども食堂への一斉 メール:14件	個別支援のつ なぎ	居場所からの相談件 数:19件
場所探し等支 援	団体運営支援:152件	助成金 (つどいの場助 成)	助成団体:75団体		
助成金 (トライアル助 成)	助成団体:6団体	大田区こども 食堂推進事業	「こども食堂」の運営 団体に対しての補助 R6:47団体		
ボランティア 保険案内	行事保険受付:279件 保険加入者:4,681名	食料品の提供	子ども食堂:60団体 パントリー団体:6団 体		
立ち上げのし かけ	居場所整備:15件	文房具の提供	せせらぎ館で実施さ れたステディドライブ 3,080点を子ども食 堂など24団体に提供		
福祉ニーズの 提供	情報提供:769件	ボランティアの 需給調整	ボランティア紹介依頼 成立:109件		

多様な主体の連携協働の事例①

こども食堂×病院×キッチンカー×地域関係機関(仮)

◆取組概要(きっかけ・地域課題・取組内容)

大森東地区では、大森東特別出張所・地域包括支援センター大森東・地域福祉コーディネーターが定期的に地域課題や居場所等について話し合いを持っていた大森東三者会の中で、同地区にある東京労災病院から地域貢献をしたいという相談を受けました。

そこで、以前から連携を行っていたこども食堂moi!と一緒にイベントができないか相談した結果、子ども達や生活にお困りの地域住民等を対象に、東京労災病院で、こども食堂moi!と東京労災病院を中心に「病院たんけんシールラリー」「フードパントリー(食料品のおすそわけ)」を実施しました。

フードパントリーコーナーでは病院やこども食堂から非常食などの食糧を配布、図書館からはリサイクルの絵本を提供しました。また駐車場にキッチンカーに来てもらい、昼食を無償で配食しました。その他、会場の一角に寄付の受付コーナーを設け、、住民の方から文房具、ランドセル、布地などのご寄付をいただき、外国から転入したお子さんなど必要な方にお届けすることができました。午後は子どもたちを対象に学習支援等を行い、中学生や大学生がボランティアとして参加し、120名以上の子どもや地域住民が参加しました。

◆連携団体

こども食堂moi!、独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院、

社会福祉法人大田幸陽会のぞみ園、大田区立大森南図書館、

イタリア食堂くってけ亭 佐鳥代表(キッチンカーコミュニティ主宰)、

一般社団法人レガートおおた、

大森東三者会(大森東特別出張所、地域包括支援センター大森東、地域福祉Co)

◆連携協働の効果

当日は子ども達や地域の方々が病院の見学等をしながら、食糧等を提供することができ、多くの地域の方が病院を身近に感じることができました。

午後の学習支援では病院の一室を借りて個人・グループワーク等を行い、楽しみながら学習に取り組むことができ、その後も継続して活動しています。

このような取り組みを通して大森東地区では地域団体、企業、関係機関との連携協働が進んでおり、地域住民のための継続的な活動・居場所づくりに発展しています。





多様な主体の連携協働の事例②

徳持南プラットフォーム 小地域の住民による地域課題の話し合いの場

◆取組概要(きっかけ・地域課題・取組内容)

重度心身障害がある方のグループホームから、「コロナ禍で出来なかった地域との 交流や障害の普及啓発を行いたい」という相談がありました。

この相談を受け、池上徳持南町会地区の多様な立場の皆さんと生活上の地域の 課題を共有し、誰もが気軽に立ち寄れる居場所や地域防災、新規住民との交流が挙 がりました。

今後の住みよい暮らしについて話し合う中で、まずは居場所づくりに取り組むこと になり、具体的な実施に向けて話し合いを進め、居場所づくりがスタートしました。今 後も、地域の課題を多様な主体で共有し、解決に向けて進めていきます。

◆連携団体

特別出張所、地域包括支援センター、自治会・町会、民生児童委員、 重度心身障害者グループホーム、地域活動団体(障害・高齢・環境)、 障害者施設、障がい当事者、地域住民

◆連携協働の効果

- ・自治会・町会エリアの小地域で多様な方と連携したことで、地域の課題が浮き彫り となり、各々が分担することで活動をスムーズに展開することができました。
- ・多様な主体が集まることで、居場所づくりだけでなく災害や障がい者や高齢者の課 題も挙がり、誰もが住みやすいまちづくりを推進していく予定です。



グループホームでの居場所づくり会議の様子



ボッチャを通じた居場所づくりの活動の様子

区民が参加できる地域活動やボランティアの種別					
ボランティア名	内容	対象者	備考		
ボランティア受給調整	ボランティア活動を希望する方とボラ ンティアを募集している施設や団体と のコーディネートを行う	どなたでも	ボランティア希望者は個人 登録可能、ボランティア受入 れ希望はHP等で公開		
使用済切手の整理ボラン ティア	住民等から寄せられた使用済み切手の 台紙を切手の周囲5mmを残し裁断する	ボランティア保険加入者 であればどなたでも、要 事前申し込み	整理した切手を専門業者に 買い取ってもらい現金化、 その現金で精米を購入しパ ントリー団体等へ提供する		
新聞紙エコバッグボラン ティア	新聞紙等の古紙を利用してエコバッグ を作製する	ボランティア保険加入者 であればどなたでも、要 事前申し込み	作製したエコバッグは子ど も食堂などに食品等配付用 として提供する		
食品仕分けボランティア	フードドライブで提供された食品等を 品目、期限ごとに仕分けする	ボランティア保険加入者 であればどなたでも、要 事前申し込み	仕分けされた食品等は子ど も食堂やパントリー団体に 提供する		

で精米を購入しパ 団体等へ提供する エコバッグは子ど どに食品等配付用 供する

登録制)

ター同士の情報交換の機会

年に数回、研修会とサポー

ター同士の情報交換の機会

を併せて提供

を併せて提供

れた食品等は子ど パントリー団体に 提供りる 事削中し込め

夏休み期間に区内の各施設や団体でボ ボランティア保険加入の 活動期間は8月一か月、申 夏!体験ボランティア ランティアの体験をする 小学生以上 込は7月前半 年に数回、研修会とサポー

絆サポーター 高齢者や心身に障害のある方の自宅へ ほほえみ訪問 (区内在住18歳以上の方、 月2回程度訪問し、安否確認等を行う 登録制) 絆サポーター 18歳未満の子育て世帯に月1回食料 (区内在住18歳以上の方、 ほほえみごはん

品のお届けと見守りや情報提供を行う

ボランティア名	内容	対象者	備考
ご近所さん	産前2か月前から満1歳までの子育て 世帯に月1回訪問し、子育て支援グッ ズや情報を提供する	ご近所さんサポーター (登録制、登録証発行)	大森東、嶺町特別出張所管 内にお住まいの方のみ利用 可
助っ人サービス	高齢者や障がいのある方の家庭内の ちょとした困りごとや作業のお手伝い をする	絆サポーター (区内在住18歳以上の方、 登録制)	20分300円の有償ボランティア
絆サポート	高齢者、障がいのある方、産前産後の 方への日常家事支援をする	絆サポーター (区内在住18歳以上の方、 登録制)	30分500円の有償ボランティア
特技ボランティア	趣味や仕事で培った特技や経験を活かして施設やイベント等で活動する	特技ボランティアをして 登録された方	自治会・町会や学校等から の要望にもお応えします
災害ボランティア	大規模災害が発生した際に被災現場 での活動や災害ボランティアセンター の立ち上げ・運営支援を行う	原則どなたでも (実質は中学生以上) 災害ボランティアバンク 登録者	初心者講習、育成研修、災害 ボランティアセンター立ち上 げ・運営訓練を開催
使用済み切手・インクカー トリッジ、フードドライブへ の寄附	使用済みの切手や家庭用プリンター の使用済みインクカートリッジ、未利用 の食品を寄附する	どなたでも	大田区社協で回収し、切手・インクカートリッジは現金化し、精米を購入。未利用食品は仕分け後子ども食堂やパントリー団体等に提供する

区民が参加できる地域活動やボランティアの種別

ボランティア名	内容	対象者	備考
エセナおおたボランティア スタッフ	男女平等推進センターの事業及び管理 運営について、センター 職員や事業メン バーと共に協力し活動しています。地域 における男女共同参画の視点を持った リーダーの育成を目的としている。	特に制限なし	令和7年2月末現在の登録 者数 99 名。
大田区生涯学習ボランティア制度	学びたい、活動したい区民に対し、これ までの学習経験によって 得た知識及び 技能を提供する個人及び団体の生涯学 習に関する ボランティア登録制度。	区内在住、在勤又は在学 する 18 歳以上の者 ※その他要件あり	
「こども SOS の家」協力 員	こどもたちが地域で犯罪等に巻き込まれることを防ぐための避難場所として「こども SOS の家」を設置し、協力員の家、店舗、事業所にステッカーを掲示している。	小・中学校PTA、青少対、 自治会・町会等に加入し ている方や区内事業者	
大田文化の森運営協議会 文化ボランティア	大田文化の森で地域の文 化活動を支援・推進する任 意団体で、企画の立案、企画事業に対するサポート(受付・会場整理・設営 など)、イベント時のスタッフなどの活動形態。	区内在住・在勤・在学の方	
国際交流ボランティア	国際都市おおた協会が実施する、様々な事業に参加、協力してい ただく登録制度。	区内在住・在勤・在学の 16 歳以上	

区民が参加できる地域活動やボランティアの種別

ボランティア名	内容	対象者	備考
区立障害者施設における ボランティア	散歩の付き添い、施設まつり等の行事の 準備や製品づくりのお 手伝い、ゲーム の運営など、さまざまな活動でボランティ アの 方を募集している。	各施設によって異なる	
「若草青年学級」協力者(ス タッフ)、ボランティア	知的障がいのある青年が余暇活動で趣味講座やレクリエーションを楽しみながら、社会生活を営む上で必要な知識や生活技術を学び仲間づくりを行う当学級の協力者(スタッフ)又はボランティアを募集している。	学級生の介助ができる 16歳以上の方(未経験 者可)	
ファミリー・サポートおおた提供会員	区内在住・在勤で生後4か月以上おおむね 12歳(小学生)以下のお子さんの育児援助を受けたい方(利用会員)と、区内在住で20歳以上の育児援助を行いたい方(提供会員)が登録し、会員同士の助け合いのもとで行われる、有償の子育て援助活動。	区内在住の 20 歳以上の 心身ともに健康な方	活動時間は、午前6時から午後 10 時までの間で、利用 会員が希望する時間
読み聞かせボランティア	大田区立各図書館の要請に応じてグ ループで活動し、こども等へ のおはなし 会の企画・実施(読み聞かせ)。	各図書館によって異なる	図書館だけでなく、学校・保 育園等に出張しておはなし 会をすることもある。